



## 立神峡だより

### 竹林に子供たちの歓声が響く

竹林の再生と整備が終わり、いよいよタケノコ堀りの季節が到来しました。

ところが、今年は期待に反し寒さの影響で桜の開花と同様、タケノコも中々成長せずヤキモキしていました。日に日に暖かくなり桜が開花すると、タケノコも一段と成長し、ログハウスに宿泊していた子どもたちは待ちに待ったタケノコ堀り体験が実現しました。最初はタケノコを見つける事にも苦労していましたが、スタッフの指導により次々に見つけ、お母さんと一緒に楽しそうに鍬で堀り起こしていました。収穫の喜びで竹林の中は子どもたちの歓声が響き渡っていました。



▲親子でタケノコ堀り体験「見て！こんなにとれたよ！」

### コスプレの聖地と化した立神峡

最近の流行りといえばコスプレ。と言ってもピンと来ない人もいるかと思いますが。漫画やアニメなどに登場するキャラクターに扮する事を「コスプレ」と言い、それを楽しむ人たちのことを「コスプレイヤー」と言います。



▲思い思いのコスプレで盛り上がりました

4月2日は、九州各県から約70人のコスプレイヤーが立神峡に集結し、それぞれの衣装でカメラマンの注文に応じてポーズをとっていました。偶然訪れたベトナムの人たちが一緒に写真を撮る姿が見られるなど、この日は立神峡公園内ではコスプレ色となっていました。

今後はコスプレの聖地としても有名になるように、フェイスブックでもコスプレイヤーの人たちとも積極的に連携を図ろうと考えています。

### 立神峡でバーベキューはいかがですか？

立神峡公園内ではログハウス・ロッジはもちろんのこと、火の広場周辺においてバーベキューが可能となっています。最近では、どこの公園もバーベキューが全面禁止となっていることもあり、熊本市内から来園される人も多く、手軽に楽しめるとあって人気急上昇中です。

立神峡公園ではバーベキューセットなどの貸し出しも行ってあります。地元の皆さんにもぜひ、楽しんでいただきたくご紹介します。

- バーベキューセット貸出 2,000円  
(炭3kg・ tong・火バサミ・着火剤・軍手・網・台)
- 光熱水料代 100円/人(小学生以上)
- 持ち込み 1,000円



【お問い合わせ先】立神峡公園管理棟  
☎ 62-1543 FAX62-1546 (8:30~17:30 火曜定休日)

ホームページアドレス  
<http://tategami-camp.com>

# 町民文化

## 短歌

み氷川の流に浮き出た岩の背に

満腹なるや一羽の川鶉

北野津 宮本 末秋

カラオケやダンス踊りに玉すだれ

屋台賑はふさくらまつり

吉本 高橋 澄子

竜峰の山に白妙写すなり

春はかすみの山桜かな

西野津 古崎スエノ

近隣に春風そよぐ初矢幟

私の心も喜び走る

南鹿野 尾崎 京子

五月晴れ青空香る尾緒振う

空に踊るや鯉のぼり

西野津 古崎 栄子

若葉風発心抱きて丘に佇つ

この世の流れ日々輝く

桜ヶ丘 宮崎敬四郎

とまどいし時の流れに老いの日々

人の優しさ心の杖に

上鹿島 前村 俊子

## 俳句

ウィーナスも

朧に沈む春の夜

北野津 宮本 末秋

歯の治療

終へて食欲増しにけり

吉本 高橋 澄子

二三輪

川面に垂るる桜かな

西野津 古崎スエノ

手作りの

小豆の光る彼岸日に

南鹿野 尾崎 京子

空高く

望みにはばたき新入社員

西野津 古崎 栄子

風車

まわり鳥呼び雲を呼び

町 香山菊童子

先生と

呼びかけられし若葉風

町 香山セツ子

したたりて

我が手に満つる春の水

桜ヶ丘 宮崎敬四郎

見上ぐれば

天のさわみか花万朶

桜ヶ丘 吉田 照子

雲流れ

光る安堵の蝶の昼

町 田中 澄子

箭を

喰めば母情よみがえる

桜ヶ丘 宮崎トシ子

うぐいすの

鳴くまね楽しリハの道

上鹿島 前村 俊子

## 名作に学ぶ

法道寺 本田 花風

投稿いただきました作品は、短歌・俳句それぞれ一句とします。必要なのは、確認のためお電話すること  
 また、確認のためお電話すること  
 場合は、ルビを付けてください。  
 もありますので、連絡先の記入をお願いいたします。

「新人に 優しき態度で 接すれば オネエですか」と「質問ささる」これは朝日歌壇で毎週掲載された年間2080首から選考された特選短歌の一つである。現実笑い飛ばす挑発力に我慢できなくなりますが、「質問ささる」の「質問」はどうかと思いつく、「ハート突き刺す」が良いのでは。では一首詠んで見る。  
 「胸キュンは もう作れない 年の精 そうでは無いよ 浮かばぬ外連味」ほどの程度の評価をいただけるか新聞投稿してみよう。  
 「たどへば君 ガサツと落ち葉をすくふやうに 私をさらって行ってはくれぬか」御船町出身の歌人、河野裕子氏の短歌である。これが本物ですね。読み手の心をガサツと掴み取る感覚にはなんの解説もいらないうしよう。一生に一度で言いからこんな作品を自作してみたい。  
 愚作を一首「歳ゆきて 琴線ふれる」事薄し ケネディ暗殺 遠きアメージング」イチローは苦手なピッチャーがいて、全くヒットが打てない投手だった。そんな中でその相手と対峙する試合があった。この日イチローは、右に左にヒットを量産し積年の苦渋を晴らした。試合後の記者のインタビュに一言、「アメージング」。このニュースを見ていたのである、NHK夜9時のスポーツニュース担当が「イチロー、アメージング」と一言。何の説明も要らぬいつものイチロー名コメント、爽快なり。